

令和 7年 9月 予算決算常任委員会 09月26日-04号

◆ 3番（内田昇委員） 行政報告書の104ページ、決算書の124ページ、地球温暖化防止実行計画進行管理事業について伺います。

まずは1番と2番があるんですが、市内のエネルギー起源の排出量のところで、増減率が平成25年から令和4年までマイナス19%とあります。また、その下の2番では、平成25年からこちらは令和6年、マイナス3.3%。目標とすると1番のほうは46%の削減というところと相当かけ離れているんですが、進捗状況はいかがなものでしょうか。

○赤坂和洋分科会長 前田環境政策課長。

◎前田辰男環境政策課長 1番のところは区域施策編というところでの目標でございまして、これは市内全域というふうな形で県のほうからデータを送られて、いただいたものでございます。

直近の数字が3年度前のデータとなりまして、令和4年度のこの合計で644.652キロトンCO₂という値が最新のものということでございまして、今年度6年度については、数字が出ていないという状況でございます。

○赤坂和洋分科会長 内田委員。

◆ 3番（内田昇委員） 令和4年度のが載っているんですが、今回答されたように、6年度というのは県のほうでまだ数字が出ていないということなんですか。

○赤坂和洋分科会長 前田環境政策課長。

◎前田辰男環境政策課長 はい、区域施策編の市内全域のほうは出ていないという状況でございます。2番の事務事業編の加須市役所の中での数値については、私どもで測っているので、令和6年度までかかるということでございます。

○赤坂和洋分科会長 内田委員。

◆3番（内田昇委員） その辺なんですが、これは全世界的に取り組んでいるかなり重要な、温暖化というのはSDGsでも最も重要なところなので、何か令和4年度のを今頃出しても、ここに載せてもほとんど意味がないようなことなので、その辺は県の数字ということに結論づけず、県のほうに催促するとか、そういうことってできないんでしょうかね。もう少し直近、令和6年度、最低でも令和5年度。ここに載せる意味があるのかという議論になってしまって、その辺についてはいかがですか。

○赤坂和洋分科会長 前田環境政策課長。

◎前田辰男環境政策課長 県のほうに問合せをしてみましたが、やはり3年度前しか出せないということでございますので、我々としては、根拠となる数字としてはこの3年度前の数字を見て、経過を見ていくという手段しか今は取れない状況でございます。

○赤坂和洋分科会長 内田委員。

◆3番（内田昇委員） 予算のほうで、決算額が予算12万円に対して5万8,358円と。これは決算書のほうで見ると、ほとんどが委員の謝金ということで、あとは旅費ですけれども、そのほかにこういう温暖化に取り組むようなことで予算というのは、ほかに、やはり必要なのではないかと思うんですが、いかがでしょうか。

○赤坂和洋分科会長 前田環境政策課長。

◎前田辰男環境政策課長 現在市のほうで一番分かりやすい予算としましては、先ほど高橋委員さんからもご質問がありましたけれども、再生可能エネルギーの補助金について予算措置をしておりまして、市民の方に太陽光、CO₂削減について促進を図っているというところでございます。

○赤坂和洋分科会長 内田委員。

◆ 3番（内田昇委員） 最近は世界情勢でも争い事が主になって、S D G s という言葉が薄れてきているような気がしますので、市民に向けての P R とか、そういうことにも力を入れていただきたい。

子どもたちの世代、孫の世代に今よりもいい環境を残すためにも非常に重要な項目なので、よろしくお願いします。

以上です。